



大堰交流センターだより

憩いの園大堰交流センター発行

🏠 守部 504-1

☎ 23-2014

床島堰(百間堰)を残すために

【舟通し跡】



この間の経過と今後のこと

ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、現在、漏水防止を目的とした「床島用水路左岸護岸工事」が行われています。※本年度は、「舟通し跡」辺りの護岸工事が行われています。

工事が予定通りに進めば、令和8年度に「床島堰(百間堰)」は見るができなくなります。

そこで、11月28日に行った交流センターの理事会では、『「床島堰(百間堰)を何らかの形で残す」という方向で取り組む』ことを確認しました。

用水路の水が落とされた後、11月6日には農林事務所、床島堰土地改良区、役場で現地調査が行われました。

今後、県において『どういった形であれば床島堰(百間堰)を残せるのか』の検討がなされ、1月に地元への回答が予定されています。その際に、大堰校区の声が必要となります。皆様のご協力をお願いいたします。

現地視察のお知らせ

交流センターでは、床島堰(百間堰)の現状を知るために現地視察を行います。

現在、床島堰(百間堰)はどうなっているのか。自分の目で見てみたいと思われる方は、下記のとおり行いますので、交流センター(23-2014)までご連絡ください。

日時：12月21日(土) 10:00~12:00

集合：憩いの園大堰交流センター 9:45

視察場所：床島堰(百間堰) 他

※ 雨天でも決行いたします。

※ 「完結編 故郷おおぜき」をお持ちの方は、持ってきてください。

※ 歩きに適した靴の準備をお願いいたします。

※ 水分の準備、防寒対策をお願いいたします。

床島堰(百間堰)の昔と今

